

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
TEL.042-724-2127

保守連合会派室



双方向の情報交流

街づくり条例適用と住民意見

「地区街づくり」と言うには、既存の住宅街に規制をかけ、地域環境を維持していこうと言う趣旨で行なわれている手法です。建築協約、建築協定とは別物です。今回は、この「地区街づくり」を実際に進めた地区のやり方が不適切ではなかったかと問いました。



街道から入ると台地があり、そこには住宅地が広がる

この、「地区街づくり」は成立した場合、関係するエリアの個人住宅に将来的な影響を与えるため、その適用には条例や規則で厳密なルールが制定されています。すなわち、規制するエリアが限定された図面が提示されること、投票者の成立条件（世帯数と合計面積数）の双方が、それぞれに3分の2を超えることとなっています。

ところが、町田市で進行しているケースでは、当初、全部の条件は満たさなかったため、追加策が取られ、当該エリアの変更がなされ、しかも、投票・開票作業を執行部自身が時間を前後しながら進めると言う方法で3分の2が賛成したと言う選挙が行われました。町田市は公職議員の選挙のように厳密にやる必要はないと言う回答をしています。それでは今後、地区の協力が得られないではないかと主張しました。

1票差採択の家賃意見書請願

「東京都住宅供給公社家賃の値上げをしないように求める意見書提出の請願」が住宅居住者から出されました。結果は、第2定例会本会議で1票差（18票×17票）で採択となりました。最終日には、この趣旨で議員が作成した意見書も同じく1票差で可決となり、東京都や関係機関に送付することが決定しました。私が所属する保守連合会派は、多数の議案で賛否自由の判断を取るものですが、この請願では4名全員が賛成とし、過半数の18票（議長を除き、3票）となりました。

その請願文書では、来年4月の賃貸家賃改定については、未だ明るさの見えない不透明な日本経済、生活困窮状況を勘案していただき、家賃の値上げを行わないよう、東京都知事への意見書を提出していただきますようご尽力をお願いします。」という趣旨で記載されていました。請願項目は、「東京都住宅供給公社が継続家賃の値上げを行わないことを求める意見書を提出してください。」となっていました。建物が変わらず、同じ住居に住む人の家賃を値上げしないでもらいたいとする内容のものでした。近年の生活環境から、この請願は有るべき要望と、私たち「保守連合」会派は判断したものです。



成立後に請願者から挨拶を受けました。
研修生・岡澤さんが同席

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12サンホワイトE103-13吉田つとむ(自宅)

町田市議会報告 住民自治

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

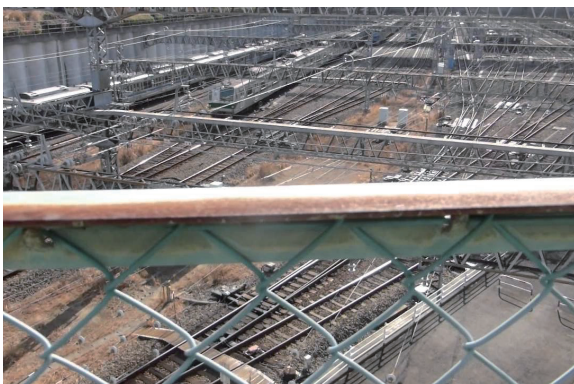
吉田つとむ自宅

〒194-0011
東京都町田市
成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13
☎042-795-7361

リニア新幹線開通と小田急多摩線延伸の同時期化促進

2027年(今から12年後)に、リニア中央新幹線が品川～名古屋間に開通し、相模原市緑区橋本に地下駅が設置されます。

他方で、小田急多摩線延伸に関して、リニア開通に合わせて、小田急多摩線延伸(町田市上小山田を通り、JR横浜線相模原駅まで)を2027年に同時開通させることを目指すことで合意したことが、私が所属する建設常任委員会にて行政より明らかにされました。資料を読み、内容を尋ねてみると、あくまで相模原市と町田市が合意したものでした。これに国がゴーサインを出し、東京都が資金負担でかかります。小田急電鉄が本気になるか否かは多摩市の賛同の如何によります。



(吉田つとむが撮影：唐木田駅車両基地)

現在の小田急多摩線は、多摩市内の唐木田駅が終点になっており、多摩市側にはそれを都心と反対方向に延伸させる積極的な理由が無いのではないかと意見があります。この日は多摩市へのアプローチに絞って問いました。町田市の本気度を高めさせたいと願っています。

クワハウス建設の期待

私が所属する「保守連合」会派が推進する、温泉を利用したクワハウス建設の構想が、住民請願として提出され、今議会で大半の支持があり、「請願採択」となりました。

建設常任委員会における審査では、請願第9号 野津田公園に「温泉を利用した健康増進スポーツ施設」(クワハウス)の提案があった場合に前向きな検討を求める」請願は、今回、実にスムーズな審議結果でした。これまで行政側が消極的でしたが、それは施設建設・運営方式が、「民設民営」で設置する方式で提案に変更されると、行政の対応が一変したわけです。つまり、行政の資金負担リスクがゼロになったわけです。

元来、クワハウスの建設は、野津田公園内に各種スポーツ施設を作る計画で実施した、市民アンケートで最も要望が多かったものです。今後スポーツ施設を拡充する野津田公園に、それをバックアップする、温泉を利用したクワハウスの建設が期待されます。



野津田陸上競技場を中心にスポーツ施設

掲載記事、あるいはご関心事は、下記のFAXもしくはメールまでご送信先ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobile専用 : yoshidaben@docomo.ne.jp

町田市議会報告 教育・文化

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



次期インターン生を募集しています

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
TEL.042-724-2171
FAX.042-724-1196

保守連合会派

鈴木彩花 研修レポート ⑥



大手教科書出版社の東京書籍を訪問しました。今回、東京書籍ICT事業本部課長の佐藤様から、デジタル教科書についてのお話をさせていただきました。近年、多くの学校に電子黒板が導入され、デジタル教科書を活用している学校も増えています。ではデジタル教科書ではどのようなことができるのでしょうか。実際にデジタル教科書を見せていただいたところ、私が考えていた以上に多様なことができるもので大変驚きました。英語のデジタル教科書を例に取りたいと思います。このデジタル教科書には音声機能がついており、教科書の会話文を読み上げることが可能です。その際、音声速度を変えることもできます。その速さごとに録音しておいているようで、発音のアクセントやイントネーションは変わらないとのことでした。自分の理解度に合わせて音声速度を変えることで、負担なく学習できると思いました。このほかにも、画面上の英文を非表示にし音声のみを流すことで、ディクテーションを行うこともできます。全文を隠すこともできますし、前置詞のみを隠すこともできます。教師はクラスの様子を見て、どのような授業をするべきか判断する必要があります。デジタル教科書の体

験版DVDをいただいたので、実際に自分で操作してみました。教師には簡易マニュアルが配布されるそうですが、最初から使いこなすのは少々難しそうです。

(フェリス学院大学3年 鈴木彩花 35期生)

岡澤 優紀研修レポート ⑤-2

今回は2015年5月に新しくオープンをした、『忠生市民センター』と『こどもセンターただON』へ見学をしいきました。(市民センター部分の記述は別掲)

「こどもセンターただON」は子供たちの遊び場が提供されていました。たくさんのカードやゲームがあり、また赤ちゃん用の部屋にもおもちゃがたくさんおいてありました。一番の驚きはやはりきれいであることです。こどもセンターという児童館のように古いイメージがしますが、できたばかりということもあり清潔感があり行きたくなれる雰囲気でした。中高生向けに音楽スタジオがありドラムやギター、電子ピアノが置いてありました。子供だけでなく、中高生にも利用されるようにしてあることで、さまざまな年齢と交流できる場としてもなっていくと良いなと思いました。



(明治大学3年生 岡澤優紀 36期研修生)

町田市議会議員 議会報告

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



市議会の見学・傍聴

矢島宏友希レポート ⑫

定例会本会議の最終日は表決を行う日です。それぞれの委員会が報告を行い、質疑・討論の時間が設けられ、その後表決という流れです。表決の際、議員席上にある「表決ボタン」を押すことで賛成・反対の意を表明します。それぞれの議員が押した結果はモニターで表示され、その氏名が傍聴席からも見ることができました。賛成多数の場合、可決(請願では採決と表現する)に至ります。この「表決ボタン」は全国でも導入されている議会は少なく、代わりに起立をして賛成をする形をとっているそうです。

町田市議会も3年前、市庁舎が移転したときに設置されたばかりだということでした。大半が反対を大きく上回る可決になりましたが、先日傍聴もした、建設常任委員会への請願などでは提出者に委員から質疑が行われたり、委員会では表決に至らないで、継続審査になる場合があります。(3月定例会の傍聴記事)



文化施設訪問時に撮影したものです

(明治大学3年生 矢島宏友希 35期研修生)

梅田史夏レポート ②

<リニューアルオープン前に見学した記事>

町田市立図書館では「図書館のセルフ化」のために全館リニューアルを行っています。図書館は現在休館しており、今年の3月にはセルフの貸し出し、返却、新しい予約システムを導入する予定だそうです。専用の機械が貸し出しと返却処理を自動的に行ってくれます。インターネットを利用した本のリクエストサービスも今後さらに普及させていくそうです。また、本の管理をよりシステムティックに行う為に本一つ一つにバーコード、カラーバーコード、そしてICタグをつけています。この三つのタイプを使い分けているのは日本国内では初めてで、世界的に見ても珍しいことだそうです。このような取り組みは利用者にとって本や読書をさらに身近に感じさせるきっかけとなることでしょう。

(慶應義塾大学1年生 梅田史夏 35期生)



梅田さんは海外から帰国し、9月入学の1年生



★吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市が実施する中学生の職場体験に先行

★大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を行う研修制度です。

インターン希望の方、あるいは関心がある方は、ホームページ掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。